

平成30年3月期 (2017年度:第21期) 第3四半期決算説明会

平成30年2月1日

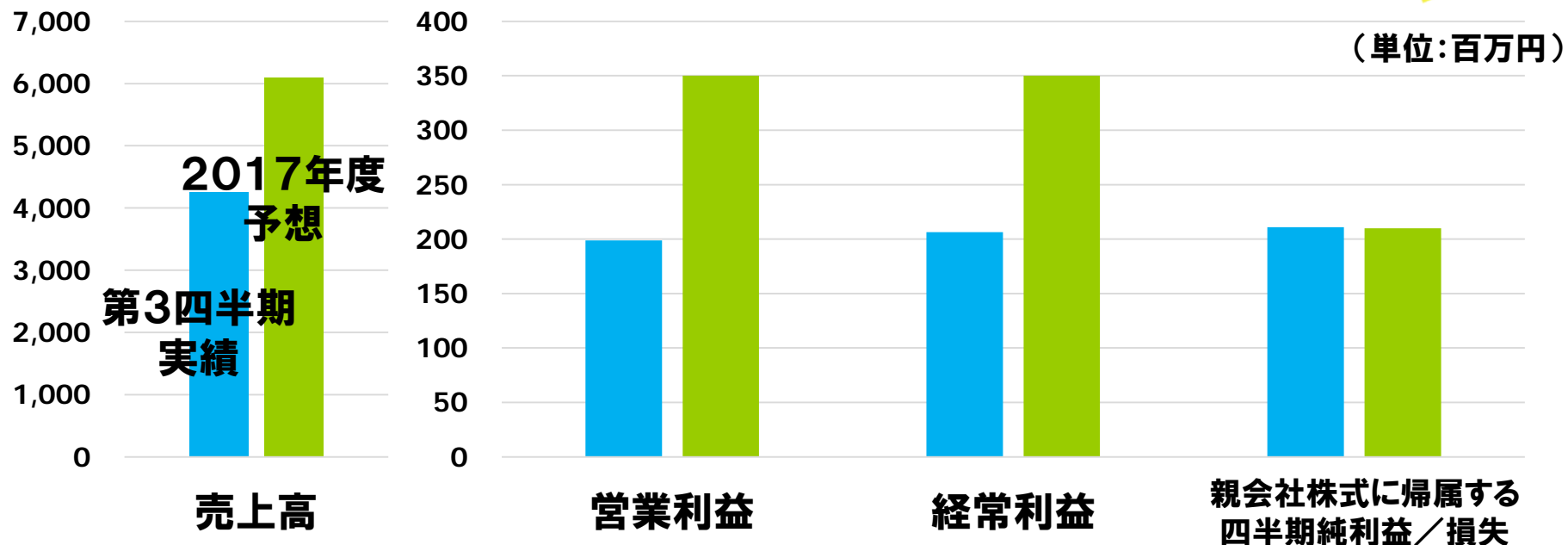
株式会社Jストリーム

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。

20th
ANNIVERSARY

もっと素敵な伝え方を。
Jstream

2017年度 第3四半期実績ハイライト



	2016年度	2017年度			
	前期実績	3Q実績	対前期増減	通期予想	進捗率
売上高	4,016	4,254	+5.9%	6,100	69.7%
営業利益	237	198	△16.4%	350	56.8%
経常利益	245	206	△16.0%	350	59.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益/純損失	140	210	+50.1%	210	100.4%

四半期決算 連結損益計算書

(単位:千円)

	2016年度Q3 (構成比)		増減率	2017年度Q3 (構成比)	
売上高	4,016,318	100%	+5.9%	4,254,554	100%
売上原価	2,298,053	57.2%	+10.2%	2,532,658	59.5%
売上総利益	1,718,264	42.8%	+0.2%	1,721,896	40.5%
販売費及び一般管理費	1,480,380	36.9%	+2.8%	1,523,083	35.8%
営業利益	237,884	5.9%	△16.4%	198,812	4.7%
経常利益	245,635	6.1%	△16.0%	206,334	4.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	140,525	3.5%	+50.1%	210,891	5.0%

受注動向

- ◆ 医薬系ライブ配信の受注が順調。配信部門が売上利益を牽引。子会社含め映像制作受注がやや低調。

内的要因

- ◆ ライブ現場の増加、制作子会社の人員減補填のための外注費増等に伴い原価率上昇。販管費は前年並みだが粗利率の低下から営業利益減。

連結バランスシート

(単位:千円)

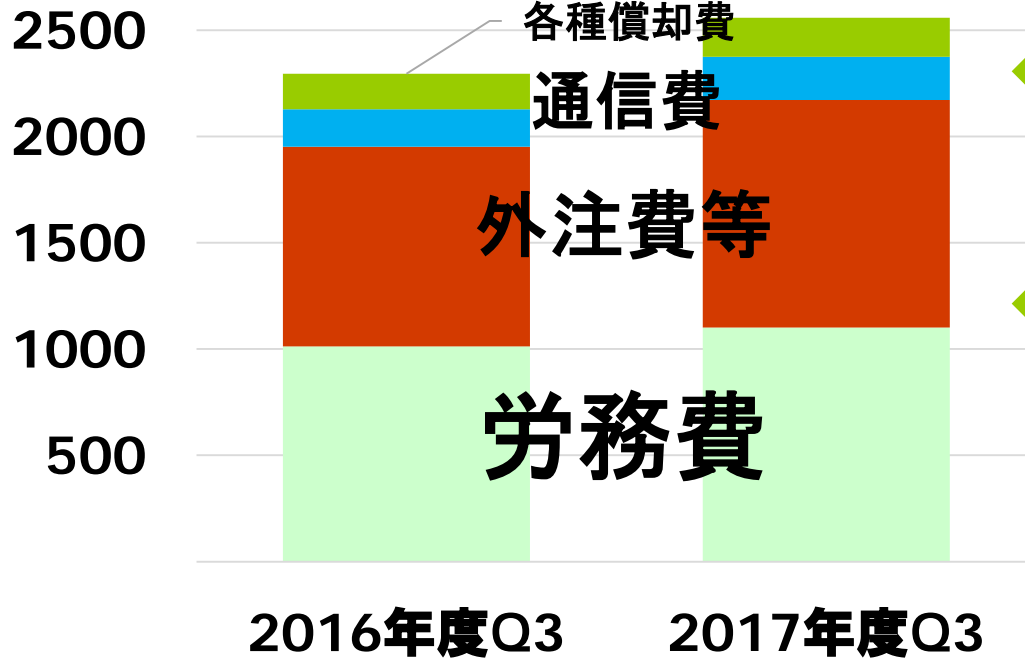


もっと素敵な伝え方を。



		2016年度末	主な変動要因	2017/12月末
資産の部	流動資産	3,483,369	ネットワーク機器等 +81M	3,420,747
	固定資産	922,351		1,256,861
	有形固定資産	297,244		406,911
	無形固定資産	542,316	ソフトウェア +65M	694,999
	投資その他の資産	152,790		154,950
資産合計		4,475,720		4,677,609
負債の部	流動負債	708,163	リース債務 +19M	737,264
	固定負債	85,465		118,416
純資産の部	株主資本	資本金	2,182,379	2,182,379
		資本剰余金	626,241	626,241
		利益剰余金	1,093,268	1,241,340
		自己株式	△459,221	△459,221
	評価・換算差額等	248	当期利益 210M 配当に伴い剰余金 増加は+148M	384
	非支配株主持分	239,175		230,803
	純資産合計	3,682,092		3,821,928
負債・純資産合計		4,475,720		4,677,609

売上原価(連結)主要項目

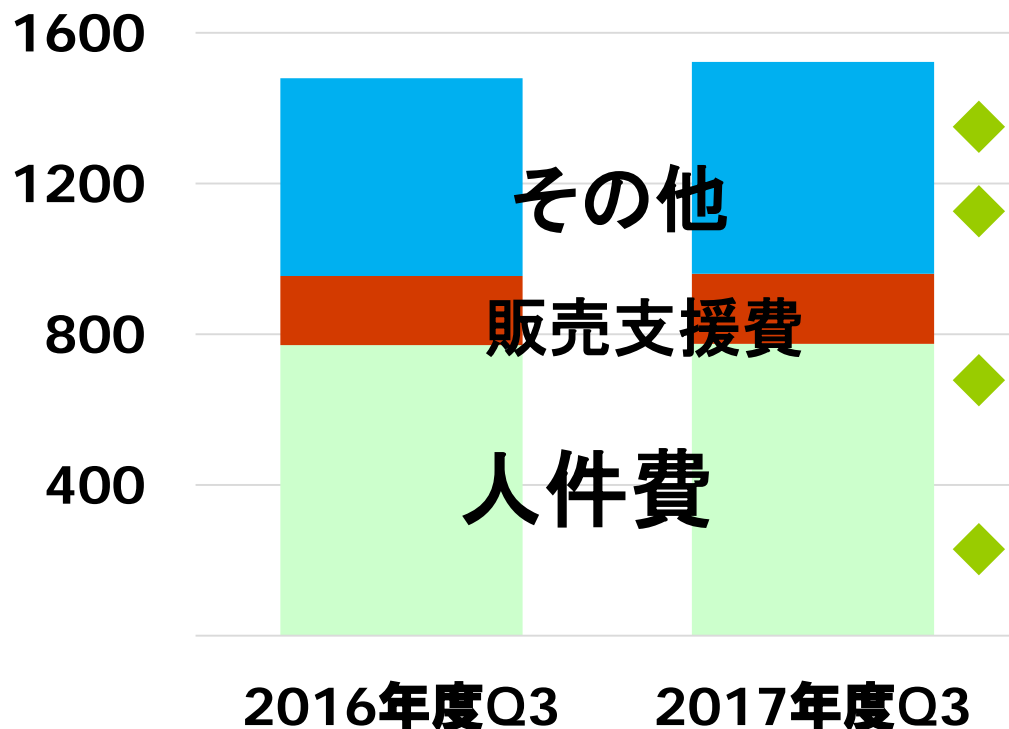


- ◆ライブ関連や、開発系中心に採用推進(配信本部)、本体人員+14名
- ◆2017年3月末の子会社解散とイノコス社子会社化あわせ、子会社人員数は前年同期並み

- ◆ライブ案件増や子会社含む映像制作案件対応により外注費増加
- ◆流量増加に対応する契約変更、DC構築により通信費増

	2016年度Q3	構成比	増減率	2017年度Q3	構成比
労務費	1,013	44.1%	8.7%	1,101	43.5%
外注費等	938	40.8%	17.0%	1,069	42.2%
通信費	176	7.7%	15.2%	203	8.1%
各種償却費	166	7.3%	10.0%	183	7.3%
その他振替等	5	—	—	△25	—
売上原価合計	2,298		10.2%	2,532	

販売費及び一般管理費(連結)主要項目



- ◆ 顕著な増減はない
- ◆ 設立20周年を迎えたことに伴いブランディング施策を展開
- ◆ 西日本営業所移転(5月)に伴い若干の費用負担有り
- ◆ その他では求人費が増大

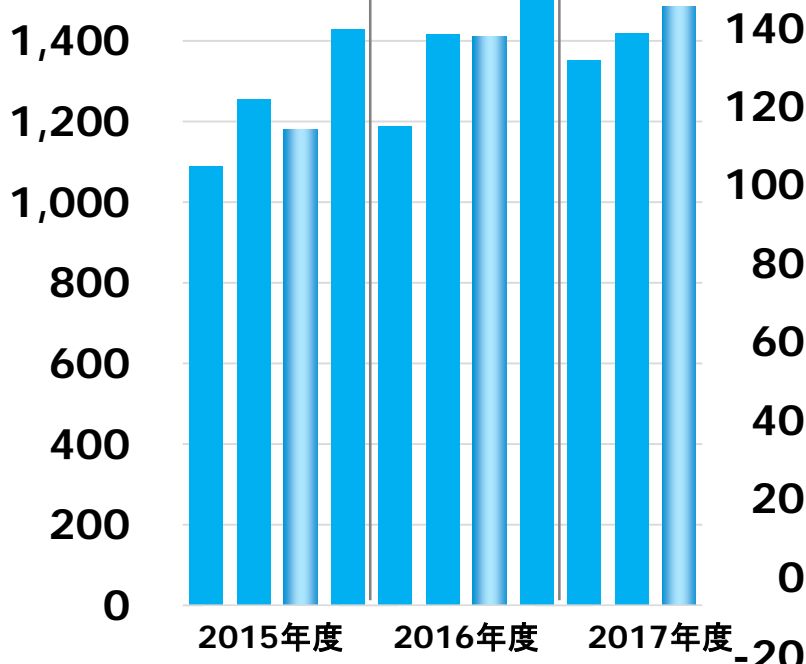
	2016年度Q3 構成比		増減率	2017年度Q3 構成比	
	金額	構成比		金額	構成比
人件費	771	52.1%	+0.4%	774	50.8%
販売支援費	184	12.5%	+1.0%	186	12.3%
その他	525	35.4%	+7.0%	561	36.9%
販管費合計	1,480		+2.9%	1,523	

四半期別売上、利益推移（連結）

（単位：百万円）



1,600 売上高



160 営業利益

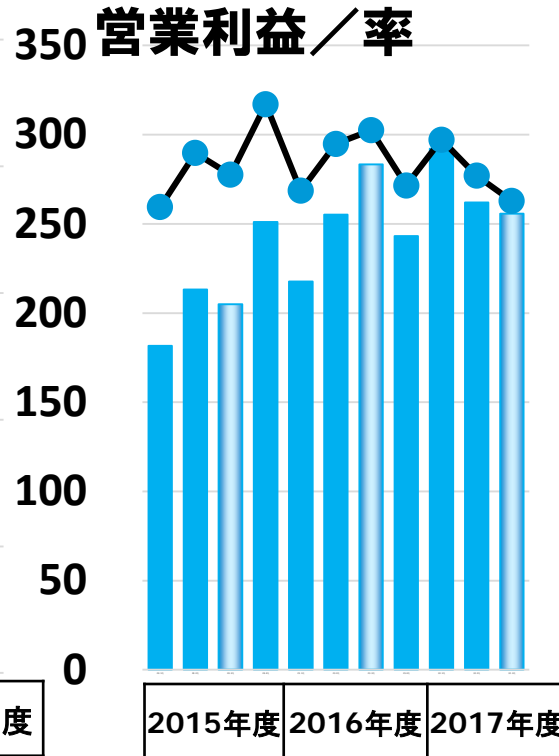
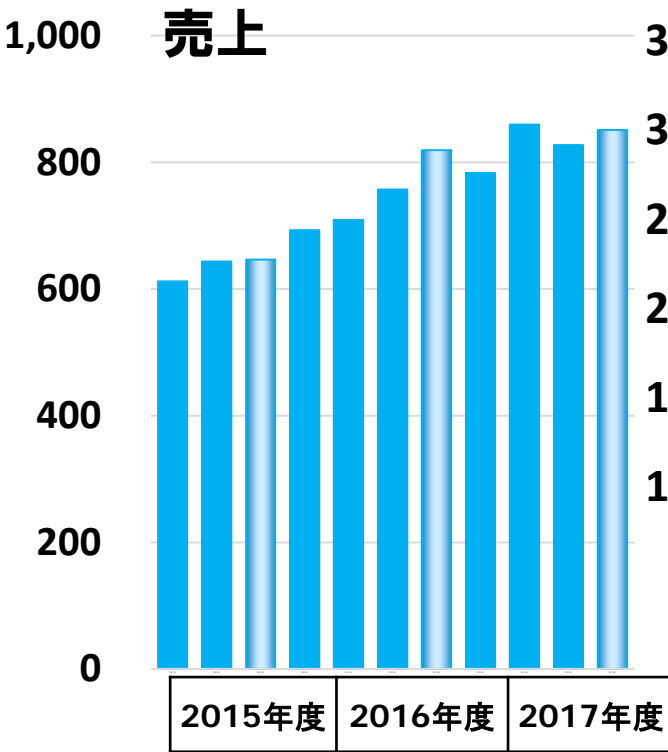


◆ 3Q単独の営業利益は制作外注費増に、開発要員増員のための積極的支出が重なった結果、前年度を下回る水準となった

◆ 3Qからイノコス社についても損益取り込み開始（2QはBS連結のみ）

	2015年度				2016年度				2017年度		
売上高	1,089	1,255	1,180	1,429	1,189	1,416	1,410	1,505	1,352	1,418	1,483
営業利益	△4	92	71	146	5	112	119	95	52	84	61
純利益	△12	58	44	90	△4	67	77	65	127	66	16
売上高	2,345		2,610		2,605		2,915		2,770		
営業利益	87		217		118		215		137		
純利益	45		134		63		143		194		

セグメント売上・営業利益状況：配信事業

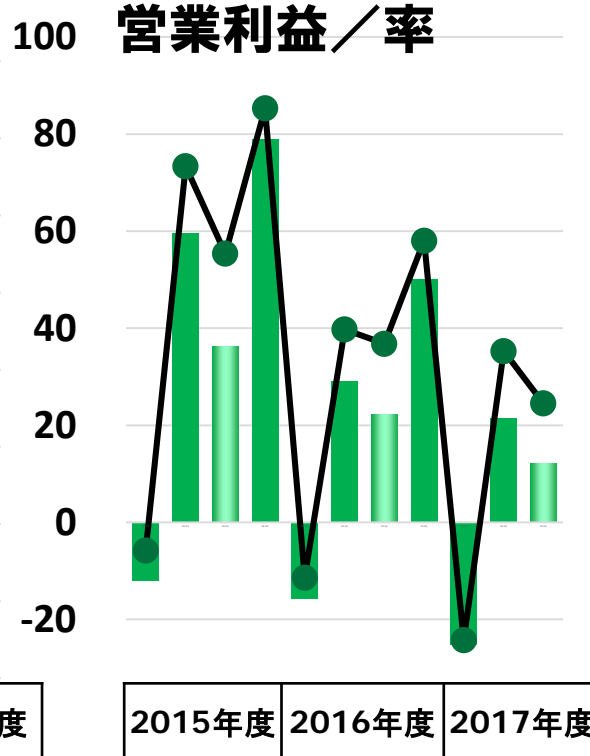
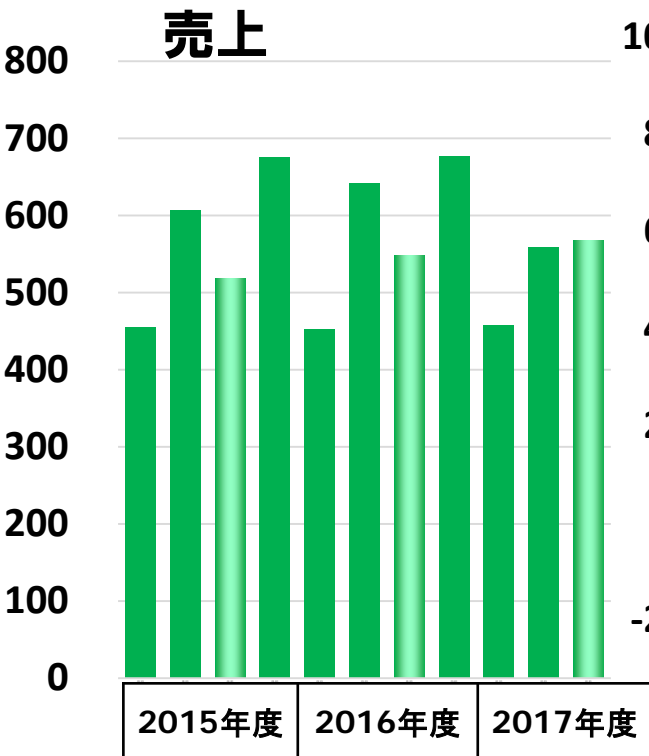


(単位:百万円、%)

- ◆ 3Qのライブ実績は前年同期並み。オンデマンド配信が伸長。
- ◆ 費用面では流量増に伴う契約変更や投資、ソフトウェア等償却の増加があり、やや利益率が下がったが想定内である

	2015年度				2016年度				2017年度		
売上	612	643	646	692	709	757	819	783	859	827	851
営利	181	213	205	251	217	254	283	243	292	262	255
利益率	29.6	33.1	31.7	36.2	30.6	33.6	34.6	31.0	34.0	31.7	30.0
半期	1,255		1,338		1,466		1,602		1,687		
1-3	1,902				2,285				2,538		

セグメント売上・営業利益状況：制作・システム開発事業



(単位：百万円、%)

- ◆ 映像制作受注は低調
- ◆ 制作全体では微増となった
- ◆ 3QにはVOD関連の大口システム開発あり、売上貢献するが外注費も大きい
- ◆ 映像制作子会社は苦戦

	2015年度				2016年度				2017年度		
売上	455	606	518	675	452	641	548	676	457	559	568
営業利益	△11	59	36	78	△15	29	22	50	△25	21	12
営業利益率	△2.6	9.8	7.0	11.7	△3.5	4.5	4.1	7.4	△5.5	3.8	2.1
半期	1,062		1,193		1,094		1,224		1,016		
1-3	1,580				1,642				1,583		

業種別売上比率(個別)

4,000

(単位:百万円)

3,000

2,000

1,000

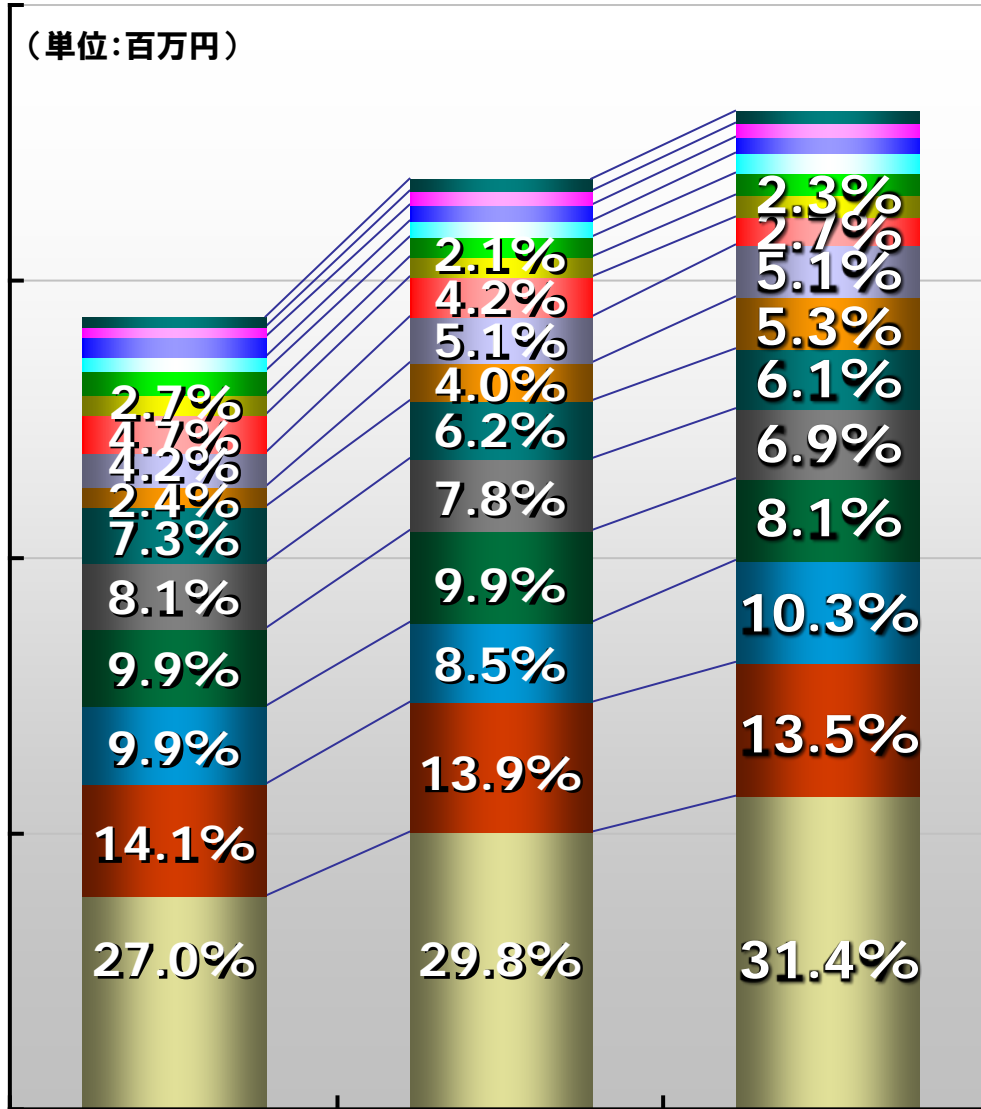
0

19-3Q

20-3Q

21-3Q

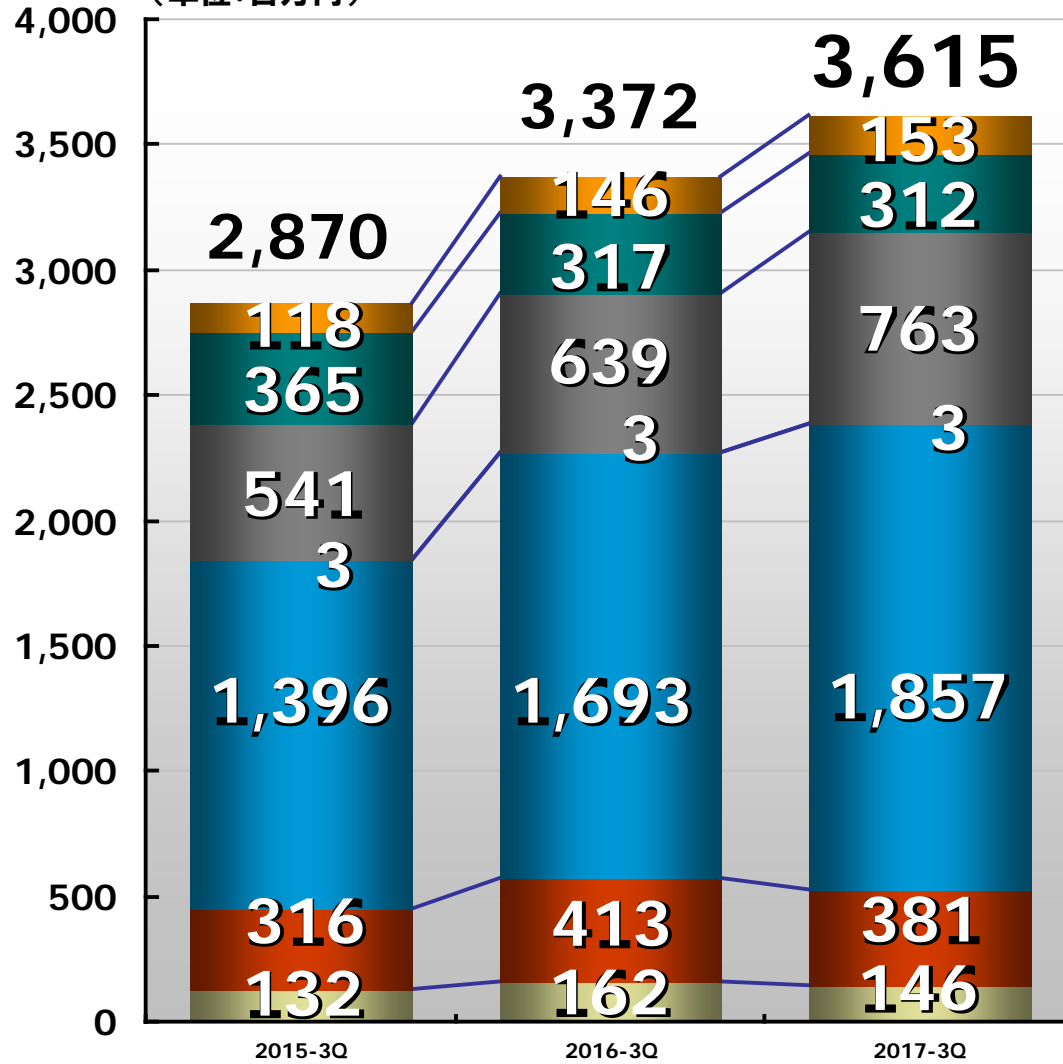
- 流通
- 団体
- CP
- 人材紹介、派遣、アウトソーシング
- その他サービス業
- 教育
- メーカー
- 広告代理店
- その他
- 通信、ISP、ネットワーク系
- 金融
- 映像、WEB制作・他制作
- IT
(ポータル含む情報サービス業、システム)
- メディア
- 医療・製薬



引き続き医薬系が好調、3割を超える水準に。ポータルサイトからの配信増で「IT」も伸びている。他業界は全体に前年並。

用途別売上比率(個別)

(単位:百万円)



- その他
- エンターテインメント (音楽/映画/娯楽/スポーツ)
- 番組/放送局
- ストリーミング広告
- 販促(商品紹介/CM/セミナー/イベント)
- 採用/教育/研修
- 会社案内/IR

増減率	
その他	+4.6%
エンターテインメント (音楽/映画/娯楽/スポーツ)	△1.5%
番組/放送局	+19.4%
ストリーミング広告	△15.9%
販促(商品紹介/CM/セミナー/イベント)	+9.7%
採用/教育/研修	△7.7%
会社案内/IR	△9.5%

◆ 医薬系の案件を中心に販促の増加額が大きい。

(単位:百万円)

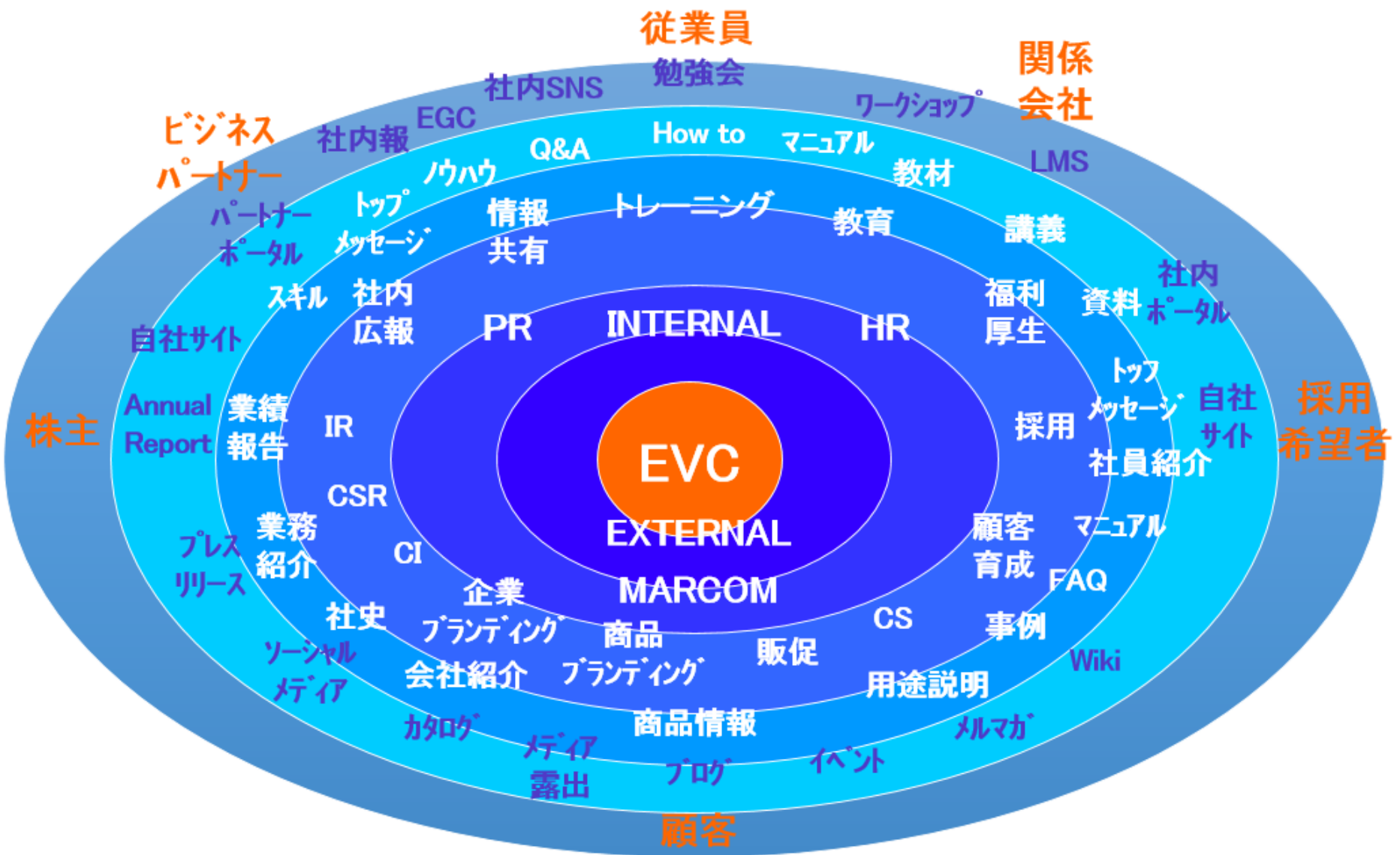
	投資項目	実施額 (年間予定額)
2017 年度	■配信事業関連 ネットワーク、サービス系 ハードウェア 157 Equipmedia、CDNext、ミテシル、 動画広告プレイヤー 他サービス関連ソフトウェア 163	431 (595)
	■制作・システム開発事業関連 ソフトウェア 1 スタジオ機材等 10	
	■その他 広告系ソフトウェア 11 社内システム、オフィス関連等 全社設備 30 社内システムソフトウェア 58	

経営方針と 最近のトピックス

**最先端の動画ソリューション提供会社で
あり続け、企業活動の支援を通じて
社会の発展に貢献する**

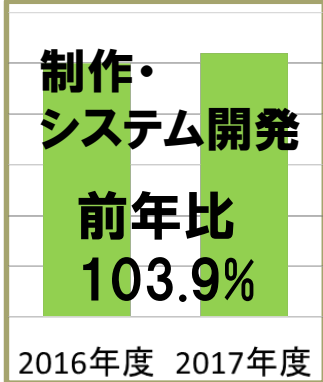
Enterprise Video Communications

今後益々広がる動画コミュニケーション





- **ライブ配信:** 医薬向けWEB講演会の成長が継続。2017年度は、サーバーサイドアドインサーション機能を追加しメディア業界に展開
- **Equipmedia:** Enterprise Video Communicationを軸に展開を継続。基本機能強化、マーケットプレイス等のサービス強化を図る
- **CDNext:** SSLアクセラレーター導入、WordPressプラグイン、GEOフィルタリング等の機能強化を推進
- **その他:** SI案件体制強化の為の人員増強



- **WEB制作:** UI/UXプレイヤー整備、及び汎用性の高いCMS活用による差別化を図る
- **映像制作:** 4K、5Kといった高画質映像対応の強化、リモートバーチャルスタジオといったDIY系サービス充実による顧客層拡大を図る
- **システム構築:** 配信、制作、運用、分析とPDCAを回す完結体制による差別化



- **動画広告:** 動画メール広告、動画アドネットワーク、動画タイアップ、検索連動型広告で構成されるMovieADシリーズの展開の為、広告在庫の確保/動画マーケティング支援の為のオリジナル広告メニューの整備を図る
- **新規事業** 配信、制作事業と親和性が高いものから事業展開を開始する

Microsoft Azureをベースとし、AIによる動画解析に対応する 動画配信プラットフォーム「VideoAid」を開発

Microsoft Azureの各種機能を活用したフルクラウド(SaaS型)の動画配信プラットフォーム

**複雑な設定作業や配信準備の必要なく、シンプルな構成でオンデマンド配信・ライブ配信の両方に対応
これから動画配信に取り組む企業でも、利用シーンに応じてスムーズスタートが可能**

AIによるAzureの動画解析機能「Media Analytics」を活用し、字幕・ぼかし・手振れ補正・動画要約・タイムラプスなどの付加価値を、手軽にコンテンツに対して追加できる機能を搭載

テレビ埼玉「HOT WAVEももいろクローバーZ 2017年総ざらいスペシャル！」のサイマル配信 に、Jストリームの「マルチCDN」サービスを提供

**CDNのパフォーマンスや視聴者のロケーションの情報で最適なCDN
を自動選択する国内初の事例**

**米国Cedexis社のマルチCDNサービスを活用。各CDNのパフォー
マンス情報や視聴者のロケーション情報をもとに、複数のCDNサー
ビスから最適なCDNを自動で選択して配信する国内初の事例**

**CDN(Content Delivery Network)は、デジタルコンテンツ配信
の高速化・安定化を実現するサービスとして既に一般化しています
が、近年は複数のCDNを利用した「マルチCDN」と呼ばれるサービ
スが、米国のOTTサービス全体の48%で利用*されているなど、米
国の大手メディアで普及しています。**

(*:Streaming Media magazine and Unisphere Research調べ/2017年4月)

上野動物園パンダ舎のインターネットライブ 映像配信「Ueno Panda Live.jp」を専用 システムでサポート

上野動物園の開園時間内はパンダ舎のライブ映像を、それ以外の時間は自動的に録画した映像をリピート配信し、24時間の番組配信を実施。

パンダ舎に8台のカメラを設置、任意のカメラの映像を選択可能。

業績予想値(連結)

	2017年度		
	3Q実績	通期予想	進捗率
売上高	4,674	6,100	69.7%
営業利益	198	350	56.8%
経常利益	206	350	59.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益／当期純利益	210	210	100.4%

決算説明内容についてのお問い合わせは

【メール】

https://page.stream.co.jp/pr_inquiry.html
(お問い合わせフォーム)

【電話】

電話 03-5765-7744 (総務部広報IR課)

へお寄せください。